

「希望と笑顔があふれるまち」の 実現のため、全力で取り組みます

このたびの市長選挙におきまして、引き続き2期目の府中市政運営の重責を担わせていただくこととなりました。府中市でも人口減少・少子高齢化が進んでおり、労働力人口はもとより、地域における担い手不足の問題が生じており、これは喫緊の課題だと思っています。

私は、2期目に向けて、「希望と笑顔があふれるまちの実現」「つながり」で創る協奏社会のテーマのもと、「力強い産業」「人・つながり」「活気・賑わい」「安全・安心」そして「ICT都市」という5つの基本目標を掲げました。

府中市には以前から、機械金属をはじめ繊維、木工、食品や農業など、さまざまな産業があります。今年度は、市独自の産業連係室を中心に、市内中小企業の技術力を活かした共同受発注や、技術習得の機能を有したプラットフォームの構築を踏まえ、生産性向上の仕組みづくりをスタートさせます。また農業分野では、カーボンニュートラルも視野に、稼ぐ農業と農業関連ビジネス（アグリビジネス）の創出を目指し、プロ農家育成に加え、半農半X・体験農業をはじめとした多様な担い手の確保などに取り組みしていきます。これらの産業をそれぞれかけ合わせることで、相乗的に「力強い産業」を実現させ、新しい府中市の産業が売り出されるものと考えています。

また「ひと」育て、すなわち教育分野についてですが、保護者の願いは、やはり確

したワンストップ相談を展開するとともに、学びや福祉人材の育成、地域の交流、賑わいの総合拠点となるよう取り組んでいきます。府中市の大きな強みは、保育所と小学校中学校が連携できていることだと感じています。この強みを活かしながら、今後は市内3高校との中高連携、大学・地域・産業界との連携といった切れ目のない学びを一層推進していきます。

「活気・賑わい」づくりについては、前述のいこいれふちゅうのオープンを昨年、府中市こどもの国ポムポムへの大型遊具開設を本年実施し、特に子育て世代に訴求するコンテンツを整備したところです。また、府中市に誕生した女子サッカーチームやプロチームとの連携によるブランド力を強化するとともに、芝生グラウンドを整備します。さらに、いこいれふちゅうや道の駅などに加え、誰もが使える市民プールを建設することで、より駅南エリアの集客力・拠点性・回遊性を高め、さらに府中の賑わいに繋がるようにしっかり取り組んでいきます。

頻発化している自然災害には、非常時において着実に判断し行動できる実践的な訓練や体制整備、中須ポンプ場整備、可搬ポンプの効果的な運用など、自助・共助を組み合わせた総合的な浸水被害対策で、安全安心の基盤づくりを強化していきます。

また健康面では、日常からの健康づくり・フレイル予防が何より大切です。生涯スポーツ・健康づくりに関心する仕組みづくりに加え、新たにICTを活用し医療介護データと個人の健康評価を紐づけた「健康カルテ」を作成し、健康リスクの早期予防に取り組めます。

依然猛威を振るう新型コロナウイルス感染症への対策については、引き続き市民の皆さんの不安軽減に徹底して取り組んでいきます。

さまざまな地域課題を解決するために必要なのは、「人」の力であり、人と人との「つながり」だと思っています。多くの方が、府中市に住んでよかった、帰ってきてよかった、来てよかったと思ってくただけのようなまちづくり、そして、誰もが幸せを実感できるまちづくりを目指して、全力で取り組みます。

府中市長 小野 申人

